

2023年5月10日

広報 IR 部

2023年3月期第4四半期決算 Web 会議 議事録 主な Q&A

日時：2023年5月10日 水曜日 16:30～17:30

Q1. 加工事業本部は主カブランドの回復は期待できるのか？24年3月期の事業利益計画 65 億円の確度についてどのように考えているのか？

A1. 今期マーケティング統括部を新設した。年間を通した主カブランドの販売戦略等を遂行し回復させる。価格改定も順調に進んでおり、外部要因△103 億円のアゲインストを打ち返す。数量改善やコスト改善も務め 65 億円を見込む。

Q2. 食肉事業本部は 24 年 3 月期の事業利益計画 320 億円について保守的ではないか？

A2. 前期厳しかった輸入食肉の改善等で 320 億円以上を目指したい。外食の回復等でフード営業も引き続き堅調に推移する。コロナの制限解除やインバウンドの回復等、販売環境は好転している。

Q3. 海外事業本部の 24 年 3 月期の事業利益計画 17 億円について

A3. 豪州の牛肉事業の改善が大きく寄与し 17 億円を目指す。今期の販売環境は好転し中国向けの販売を中心に利益が回復する。米国産牛肉の生産減少も追い風となる。北米の加工品については、販売数量を拡大していく。

Q4. ボールパーク・その他事業の 24 年 3 月期の事業利益計画 15 億円について

A4. ボールパーク事業で 20 億円、新規事業で△5 億円、合計 15 億円を目指す。球団単体の営業利益 26 億円は当初の計画から変更なし。

Q5. 24 年 3 月期の設備投資計画 701 億円について

A5. 営業キャッシュ・フローの減少により設備投資計画は 701 億円まで圧縮した。中計 3 カ年では 2,480 億円から 2,180 億円への減額となる。各事業本部では必要最小限の投資に留め、新規投資実行時については精査する。

Q6. DX の進捗及び効果について

A6. 前期に会計システムを刷新した。業務システム再構築に関する DX 効果については、当初は 24 年 3 月期から発現する計画だったが、一部を除き効果発現が遅れる。

以上